

[令和 8 年 4 月 27 日 厚生文教委員会資料]
議会事務局

厚生文教委員会調査資料目次

陳情第 8－1 号

有機フッ素化合物（P F A S）から健康を守るために、血液検査に
市の補助を求める陳情

【議会事務局】

資料

- ・別紙 1 鎌ヶ谷市有機フッ素化合物（P F O S／P F O A）に係る血液検査
事業実施要綱
- ・別紙 2 鎌ヶ谷市 P F A S に係る血液検査結果

調 査 報 告 書

令和 8 年 4 月 13 日作成

担当部課名 議会事務局

課長氏名 鈴木 輝哉

電 話 内線 5102

番号	陳情第 8－1 号	受理年月日	令和 8 年 1 月 23 日
件名 有機フッ素化合物（P F A S）から健康を守るために、血液検査に市の補助を求める陳情			
調査項目（1）千葉県鎌ケ谷市における P F A S に係る血液検査費用助成事業の概要について			
<p>（1）について</p> <p>千葉県鎌ケ谷市における P F A S に係る血液検査費用助成事業の概要について調査を実施しました。その結果は、次のとおりです。</p> <p>1 P F A S に係る血液検査費用助成事業を実施するに至った経緯について</p> <p>令和 6 年 5 月に市内軽井沢地域の井戸水から P F A S が検出されたことを受け、これまでに井戸水を飲用していた地域住民から血液検査の実施を求める声が複数寄せられた。血中 P F A S 濃度と健康の関連について国などによる知見が示されていない中ではあったが、井戸水を飲用していた方に御自身の状態を知っていただくことで不安の軽減を図るという、市民に寄り添った対応として実施することとした。</p> <p>2 事業の概要について</p> <p>令和 6 年 9 月に定めた「鎌ケ谷市有機フッ素化合物（P F O S／P F O A）に係る血液検査事業実施要綱」（別紙 1）により、水質検査で暫定指針値を超過した井戸水を飲用していた方を対象として、3 万円を上限に、1 人につき年 1 回、計 2 回まで血液検査費用を助成することとしている。</p>			

3 血液検査費用助成事業に係る予算、受検者数及び検査結果について

予 算 額 令和7年度 150,000 円 (30,000 円×5人)

令和8年度 90,000 円 (30,000 円×3人)

受検者数 令和6年12月 受付開始

令和7年1月～3月 10人

令和7年4月～令和8年3月 0人

検査結果 別紙2

4 今後の展開について

血液検査への助成は、井戸水を飲用していた方に御自身の状態を知っていただくことで不安の軽減を図るという、市民に寄り添った対応として実施しているもので、既に受けられた方に対しては、時期を見定めて再検査の実施について御案内するとともに、助成の対象で検査されていない方についても、希望に応じて随時受け付けることとしている。また、今後もPFASと健康影響に関する情報の把握に努め、得られた情報の速やかな周知を図るとともに、市民の方々の不安の解消につながるよう対応していく。

○ 添付資料

別紙1 鎌ヶ谷市有機フッ素化合物（PFOS／PFOA）に係る血液検査事業
実施要綱

別紙2 鎌ヶ谷市PFASに係る血液検査結果

○鎌ケ谷市有機フッ素化合物(PFOS／PFOA)に係る血液検査事業実施要綱

令和 6 年 9 月 4 日

告示第 96 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸(以下「PFOS」という。)及びペルフルオロオクタン酸(以下「PFOA」という。)に係る血液検査事業(以下「事業」という。)を実施することにより、井戸水汚染に対する市民等の不安の軽減を図り、かつ、井戸水汚染と血中濃度との関連の有無についての解析を行うことを目的とする。

(事業の内容等)

第 2 条 事業は、市長が実施し、その内容は次に掲げるものとする。

- (1) 有機フッ素化合物(PFOS／PFOA)に係る血液検査(以下「検査」という。)
- (2) 検査費用の助成(以下「助成」という。)

2 助成対象の検査は、医療機関等において実施するものとする。

(対象者)

第 3 条 事業の対象とする者(以下「対象者」という。)は、本市が令和 6 年 4 月以後に実施した有機フッ素化合物である PFOS 及び PFOA に係る井戸水質調査(以下「本市井戸水質調査」という。)の対象となった者又は事業所に勤務する者若しくは勤務していた者であって、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 次のアからエまでのいずれかに該当する者

ア 検査を受ける日(以下「検査日」という。)において、本市に住所を有する者

イ 第 6 条第 1 項第 1 号に掲げる文書に記載されている「採水年月日」において、本市に住所を有していた者

ウ 検査日において、本市井戸水質調査の対象となった事業所に勤務する者

エ 第 6 条第 1 項第 1 号に掲げる文書に記載されている「採水年月日」において、本市井戸水質調査の対象となった事業所に勤務していた者

- (2) 前号ア又はイに該当する者にあつてはその住宅の敷地内の、同号ウ又はエ該当する者にあつてはその事業所の敷地内の井戸水を飲用に利用しており、かつ、その井戸水の水質の測定値が、国の設定する井戸水の水質管理目標設定項目である PFOS 及び PFOA について、その暫定指針値である 1 リットルあたり 50 ナノグラムを超過していること。

(助成の回数)

第 4 条 助成を受けることができる回数は、対象者 1 人につき 1 年度あたり 1 回とし、最大 2 回までとする。

(助成金の額)

第5条 助成金の額は、対象者1人につき検査に要した費用の額とし、1回につき30,000円を上限とする。ただし、検査のための通院等に要した費用は助成の対象としない。

(助成の申請等)

第6条 助成を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、検査を受けた日から1年以内に、鎌ヶ谷市有機フッ素化合物(PFOS/PFOA)に係る血液検査費用助成申請書兼請求書(別記第1号様式)に次に掲げる書類を添えて、市長に申請しなければならない。

- (1) 「有機フッ素化合物(PFOS、PFOA)の水質調査結果について」の写し
- (2) 血液検査結果が確認できる書類
- (3) 血液検査機関の発行する領収書
- (4) 金融機関の通帳の口座番号が確認できる書類(本人名義)
- (5) 在勤証明書(別記第2号様式。第3条第1号ウ又はエに該当する者に限る。)
- (6) 検査日において本市外に住所を有する者は、その身分を確認できる書類等
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

(助成の決定等)

第7条 市長は、前条の規定による申請があったときは、その内容を審査し、助成の可否及び助成金の額を決定し、鎌ヶ谷市有機フッ素化合物(PFOS/PFOA)に係る血液検査費用助成金交付決定(却下)通知書(別記第3号様式)により申請者に通知するものとする。

(助成の取消し等)

第8条 市長は、申請者が偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けた場合は、交付の決定を取り消し、既に交付した助成金があるときは、その全部を返還させるものとする。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか事業の実施に必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、公示の日から施行する。

(失効)

- 2 この告示は、令和10年3月31日限り、その効力を失う。ただし、同日前に第6条の規定による申請がなされたものについては、同日後も、なおその効力を有する。

鎌ヶ谷市P F A Sに係る血液検査結果

別紙 2

	検査結果						
	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	PFDA	PFUnA	N-MeFOSAA
単位	(ng/mL)						
平均値 (※1)	24.3	5.9	63.3	1.2	0.3	0.8	0.1未満
最大	66.3	12.5	172.3	1.8	0.6	1.1	0.1未満
中央値 (※2)	10.3	3.9	20.7	1.0	0.3	0.7	0.1未満
最小	6.1	0.8	9.7	0.6	0.2	0.3	0.1未満

※1 平均値：合計値を検査人数で割って得られる値

※2 中央値：数値を順に並べたときに順番が真ん中になる値